

Access to the future ~ 笑顔ある未来をともに創ろう

DCON・GCONの協賛企業であるアクセスネットは、高専生を高く評価し、応援する企業だ。自身も高専出身の同社社長、高石氏に目指す企業像について伺った。



写真左から2番目/アクセスネット代表取締役 高石和生(たかいし かずお)氏
1956年小樽市生まれ、1976年苫小牧工業高専電気工学科卒業。1990年アクセスネットを設立

ITの力で社会課題の 解決に貢献する

アクセスネットは、「貢献」「育成」「繁栄」の3つを企業理念に掲げています。まず「貢献」ですが、当社の主な事業は、データの活用やシステムの提案・構築によるソリューションを提供し、各企業が抱える様々な課題について解決することです。そのことを通じて、情報産業の発展に寄与し、社会の進歩と人類の幸福に貢献したいと考えております。「育成」については社員のみならず、同業他社の新入社員も対象にしております。ITの基礎理論・知識の習得からシステム開発の実践演習までを行うコースなど、様々な研修を提供しております。そして、創造性豊かな情報システムと人間性豊かなサービスをj提供することで、お客様と当社がともに「繁栄」することができれば、と願っております。

そのような理念に基づく「経営ビジョン」として、100年を越えるIT企業を目指すこと、ITで日本を強くすること、トップシェアのITサービスを創造すること、そしてみんなが喜ぶ(満足する)会社を目指しています。

現在、その実現に向けて、当社の代表的サービスとなりうる、市場に広く受け入れられるようなサービスの開発に注力

技術者が働きやすく やりがいのある環境を提供

このようなビジョンを実現するために、当社は若い人材に大変期待しています。当社が求める人材像として、特に自立的な人材、コミュニケーションを円滑に取れる人材を重要視しています。自走するエンジニア集団として、指示を待つだけでなく、自分で考えて提案・行動する人を求めています。そういった方はほとんど成長していきますし、また、近年はエンジニアにもサービスマン的な役割が求められる傾向があります。直接お客様を訪ねて困りごとに耳を傾け、その解決策を自ら提案できる対話能力が非常に重要であるとも考えています。

当社は社内の交流も大切にしています。スマートフォンを全員に支給し、チャットアプリで社員同士気軽にやりとりができるようにしています。そして若手同士はもちろん、上司や先輩にも意見を言いやすい、風通しのよい社風が特長です。福利厚生制度も充実させ、女性の働きやすさに配慮した環境も整っています。産休・育休を経て復帰し、時短勤務などを利用して再び活躍している女性社員も珍しくありません。

実際の現場でも、年齢や実績に拘らず、若くても適任であればプロジェクトのリーダーを任せており、やる気のある社員にとっては、働きがいを実感しやすい環境だと思っています。また、一口にIT業界と言ってもシステムの開発やネットワークの構築、データ分析など

しています。その一つが、7月から提供を開始した、自走するエンジニア集団を作るための企業成長支援クラウドサービス「P i F O R C E (ピー・アイ・フォーエス)」です。社員の仕事に対する公平なパフォーマンス評価や報酬体系の適正化、スキルアップとキャリア開発、チーム連携強化など、企業として最大のパフォーマンスを発揮するための仕組みを支援するサービスです。多くの企業がこのシステムを活用することで社員と企業とともに成長し、業績を向上させることができ、ひいては日本を強くすることにつながると考えています。

高専生の採用を積極的に推進

私自身も高専の卒業生ですが、高専生は、真面目に物事に取り組み、高い能力を持っている印象があります。実習やレポートなどを通じてアウトプットの経験も豊富です。また、しっかりとした目的意識を持ち、親元を離れて寮に入り自立した生活を送っている高専生も多いです。まさに高専生は当社が求める条件とマッチしており、即戦力となるような優秀な人材が揃っていると感じます。さらに若者ならではの新鮮な感覚を活かして一緒に仕事できれば理想的であり、今後高専生を積極的に採用していきたいと思っています。

現在、当社では各地の高専との連携を進めています。苫小牧高専では、企業や社会の課題解決に取り組む実践型授業を提供しています。学生が当社社員と交流しながら、企業のニーズや社会の課題を発見し、一緒に学びながら解決策を実践します。

高専生をはじめとする若い皆さんが、思う存分、力を発揮していただける環境を整えてお待ちしております。ぜひ素晴らしい未来をともに創りましょう。



アクセスネットと高専生のつながり



左上/PCを受け取る苫小牧高専の小林校長と
左下/DCON2023でのアクセスネット賞授与の様子
上/ビジネスコンテスト・アイデアソンに参加した高専生と



アクセスネットと高専生のつながりは、各種イベントへの協力や支援など、多岐にわたっている。

高専DCONでは優秀な作品を制作したチームに「アクセスネット賞」を贈呈している。またSDGsの理念に共感し、2023年からGCONにも協賛している。同社でも業務上の男女差はまったく無いと考えており、女性ITエンジニアが活躍中だ。

さらに、「高専生を、もっと挑戦者に」をスローガンとしている「高専キャリア研究所」の年間スポンサーも務める。同研究所が23年春に開催した、高専生のアイデアとその実装力を形にする「ビジネスコンテスト・アイデアソン」では、同社のセミナールームを会場として提供、この大会に全国から参加する学生には、同研究所から交通費が全額支給されている。

また23年2月には、高石社長の出身校である苫小牧高専へ中古PC28台を寄贈した。同校ではICT教育

に積極的に取り組んでおり、文部科学省から数理・データサイエンス・AI教育を体系的に行っている高等教育部として認定されている。新入生は入学時にノートPCを準備する必要があり、

「業務はチームで取り組み、分からないことは何でも教えてもらえる環境が整っています」

